



泉水山

真庭市立河内小学校だより
R8年度 第14号
令和8年9月8日(火)発行

運動会練習における熱中症対策

今週から本格的に運動会練習が始まりました。当面蒸し暑い中での練習が見込まれます。学校では運動会について次のように熱中症対策を講じていきます。保護者の皆様方のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



なお、状況によっては変更させていただくこともありますので、ご了承ください。

- 児童の体調と暑さ指数を確認しながら、水分補給や休憩の時間を計画的に取りつつ練習を進める。
- 児童数減少に伴い、従来は低・高学年別に行っていた「表現運動(ダンス)」を全校で行う。「お手本動画」を事前に各学年 Classroom にアップしておくことにより、クーラーの効く教室等に分散しての練習も可能となり、運動場での練習回数の縮減につなげる。
- 水分はお茶か飲用の水を基本としつつ、補完的に経口補水液やスポーツドリンクを持参してもよい。(10月30日の真庭支部陸上記録会まで)
塩分補給のために、お茶に少量の塩を溶かしてもよい。
※家庭から持参した水分が不足した場合は、市販の飲用水を渡しますので、後日同等品を持たせてください。
- 気候条件によっては児童玄関にミストシャワーを設置し、適宜使用する。
- 長時間、屋外で過ごす予行と運動会当日は、気候条件により扇風機等を児童用テントに設置する。
- 競技中(練習を含め)は、基本的にマスクは外すようにする。希望する児童は着用してもよい。
- 予行および運動会当日は、複数回休憩を取り、確実に休息と給水をさせつつ進行する。



<その他・お願い>

- 練習期間中は疲れて帰宅すると思います。十分な食事や水分を摂り早めに就寝させるようにしてください。健康管理面でご心配なことがあれば担任までご連絡ください。

PTA奉仕作業大変お世話になりました

9月5日(土)は早朝より、親子でのPTA奉仕作業に多数ご参加いただき、ありがとうございました。

保護者の皆様には、樹木の剪定や草取り、溝掃除等をお世話になりました。子どもたちはたてわり班に分かれ、平素手が回らない箇所の掃除に協力して取り組みました。



また作業終盤には、サッカーゴールの移動や児童用テント張りなど、運動会全校練習開始に向けての準備もしていただき、大変助かりました。本当にありがとうございました。昨年度までは、運動会直前の平日夕方にテント張りのお願いをしておりましたが、次年度以降も今年度同様、奉仕作業時に合わせてテント張りをお願いできればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

4月に実施した6年生の全国学力・学習状況調査結果が学校に届きました。河内小全体としての結果は、表の通りです。

＜平均正答率＞（全国平均値より高いものが太字）

	本校	真庭市平均	県平均	全国平均
国語	63.0	61.0	62.0	60.9
算数	60.0	55.0	55.0	56.4



＜資質能力別および問題形式別平均正答率＞（全国平均値より高いものが太字）

		国語			算数		
		本校	県平均	全国平均	本校	県平均	全国平均
資質能力別	知識・技能	63.6	62.6	62.0	62.9	58.9	60.1
	思考・判断・表現	62.3	60.8	60.1	52.3	44.0	45.4
問題形式別	選択式	64.6	62.5	61.9	56.4	54.7	56.0
	短答式	50.0	63.6	62.6	63.6	58.2	59.7
	記述式	68.2	55.4	54.9	57.6	47.7	48.5

データ分析を進める中で、本校児童の学びにおける強みと、今後の授業改善に関わる重要な相関関係が明らかになりました。

【本校6年生児童の結果】

- ①国語・算数とも記述式正答率が全国平均を約9～13ポイント大きく上回っている。
- ②「知識・技能」だけでなく、「思考・判断・表現」の観点も全国平均超となっている。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」は、文部科学省が定める学習指導要領において、子どもたちに身につけさせるべき「学力の3つの柱（資質・能力）」のうちの2つです。「知識・技能」は各教科の基礎・基本となる知識の理解や、それらを正確に扱う技能（計算、観察、実験、漢字の読み書きなど）のことです。「思考・判断・表現」は身につけた知識や技能を活用して、未知の課題に対する解決策を「考え（思考）」、「判断し」、自分の言葉や図表で「伝える（表現）」力のことです。

【授業改善の重点】

今回の結果から、「自分の考えを言葉や式で記述する力（書くこと）」と「思考・判断・表現」する力には強い相関があることが分かりました。

考えを文章や図・式にして「書く」という作業は、頭の中にある直感的なアイデアを整理し、順序立てて論理を組み立てるプロセスそのものです。自分の言葉で表現しようと試行錯誤する経験を積み重ねることで、物事を多角的に捉え、筋道を立てて考える「思考・判断・表現」する力が飛躍的に高まります。

今年度の本校の6年生児童の結果の背景には、これまでの日々の授業において「理由や根拠を自分の言葉で書く」取組の積み重ねがあると捉えており、今後も全学年で継続していきます。